

より安全な地下鉄を目指して

2015年10月28日(水) 南北線 王子車両基地にて 異常時総合想定訓練を実施

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、事故・災害等の発生時における関係社員の初動対応、お客様の救出救護及び避難誘導における迅速・適切な対応、鉄道施設復旧処置等を主眼とした異常時総合想定訓練を2015年10月28日（水）に実施いたします。

今回の訓練では、「首都直下型地震により緊急停止した列車が脱線」の想定の下、事故発生時における負傷者の応急救護、避難誘導時における関係部門の対応、復旧処置のための点検作業、損傷したレール交換等を実施することにより社員の異常時対応能力の向上を図ります。今年度の訓練会場である王子車両基地は地下車庫となるため、実際のトンネル内の環境（狭隘、暗所）に近い環境での訓練であるため、実践的な訓練となります。

詳細は下記のとおりです。

記

1 日 時 2015年10月28日（水） 10時30分～12時00分

2 場 所 南北線 王子車両基地構内（北区王子5-28-16）

3 想定内容

首都直下型地震が発生し、南北線六本木一丁目駅～溜池山王駅間を走行中、指令による緊急停車をしたものの、地震動により脱線。乗務員が確認した結果、衝撃等により多数の負傷者を認め、関係部門及び消防機関と連携してお客様の救出救護及び避難誘導を行う。また、車両の脱線に伴いレールが損傷したため、夜間作業にてレール交換を行う。

4 訓練参加者

東京メトロ社員、東京メトロお客様モニター、東京消防庁王子消防署
※訓練の参加予定者は約190名です。

5 訓練内容

- (1) 異常時の初期対応、お客様への情報提供、現地対策本部の設置・運営
- (2) 負傷者の救出・応急処置・搬送
- (3) 列車内のお客様の避難誘導
- (4) 損傷したレールの交換作業

以 上



昨年度行われた訓練の様子